

大山町のごみ事情⑦

分別・減量のコツ




大山町のごみの分別は、大きく分けて①可燃ごみ②可燃粗大ごみ③不燃ごみ④不燃粗大ごみ⑤資源ごみ⑥乾電池⑦蛍光管⑧バッテリー⑨混合粗大ごみの9種類です。

そのうち可燃ごみは名和クリーンセンターで焼却されますが、焼却処理可能量が1日当たり8tに対して、排出されるごみの量は約13tもあります。名和クリーンセンターで焼却できない約4割のごみは、米子市に費用を負担して処理委託をしています。

みなさんが排出されるごみを減らすことは、環境にも町の財政にもやさしい取り組みとなりますので、分別・減量のコツをぜひ実践してください。

可燃ごみの中に、封筒、いらぬ郵便物や印刷物、お菓子の空き箱など大切な資源ごみが混ざっていませんか？リサイクルできるものはありますか？

ごみの問題は私たちの生活に関わる重要な問題であり、ごみを正しく分別することは可燃ごみを削減し、

	分別・減量のコツ	期待される効果
1	紙ごみに気をつけよう！	可燃ごみが減り、再生可能な資源となります
2	 マークを見逃さない！	
3	リサイクルできないか！	
4	手間を惜しまない！	分別のスキルがアップします

ごみの再資源化を図ることにつながります。可燃ごみを減らし、ごみを大切な資源として活用していく、環境にやさしいまちづくりにご協力よろしくお願ひします。

◆問い合わせ先

住民課

☎0859・54・5210

大山町ガイドボランティア養成講座

大山町は、国立公園大山をはじめとする豊かな自然、歴史、文化に富んだ町です。私たち自身が分たちの住む町のすばらしさを再発見するとともに、本町を訪れる多くの人たちに『おもてなしの心』と我が町の魅力を知ってもらうために、観光のボランティアガイドとして活動していただける方を募集します。

スプレー缶等の廃棄には ご注意ください！

殺虫剤、消臭剤等のスプレー缶やカセットボンベは、中身を使い切ったから不燃ごみで出しましょう。穴をあける必要はありません。

スプレー缶には、残ったガスを確実にかつ安全に排出するための方法が表示されています。

ガス抜きをする際には、使用上の注意に従って正しく行ってください。

◆問い合わせ先

住民課

☎0859・54・5210

受講生募集

◆日程（全3日間）

1日目 3月16日（土）

10時～16時（座学・野外講義）

2日目 3月17日（日）

10時～16時（座学・野外講義）

3日目 3月23日（土）

9時～16時（現地研修）

◆会場 大山自然歴史館

※3日目は現地研修のため、大山町役場大山支所集合

◆講師

鷲見寛幸氏、金田千義氏 ほか

◆対象

大山町在住または大山町内の事業所に勤務している方

◆定員 10名

◆受講費 無料

*昼食は各自持参してください

◆申込期限

3月12日（火）まで

◆申込み・問い合わせ先

大山町観光案内所

☎0859・52・2502

FAX0859・52・2770